

労働者との結びつきを大切にする組織を作り 要求前進と1000名支部建設を実現しよう

建交労関西支部第60回定期大会(10月26日~27日 建交労会館2階ホール)



(11月号)

2024年11月30日
発行所
全日本建設交通一般労働組合
関西支部

〒532-0011
大阪市淀川区西中島7-12-9
建交労会館3F
TEL 06-6886-3915(代)
FAX 06-6886-3917
発行責任者
藤川 拓



「全組合員の総力をあげて、仲間のくらしと権利、いのちと健康を守るたたかいをひろげ、早期の1000名支部建設をめざそう」「集团的労使関係の強化で中小企業との共同を発展させよう」—建交労関西支部第60回定期大会は10月26・27日の2日間にわたり、建交労会館で開かれました。

また、2025年度重点課題でのストライキ権を確立し、「大会宣言」「特別決議」「大会スローガン」を全員で確認し、来年の支部結成60周年へ向かって、支部が大きく広げ、組合員の要求が実現できる運動を展開して職場の一人ひとりの力を携えて運動を広げていこう、と確認しました。

大会は、要求前進と1000名支部建設をスローガンに掲げ、25年度運動方針を全員の賛成で確立しました。

また、本大会では役員改選も行われ、全員が圧倒的多数の信任を受け、新しい執行部が選出されました。



執行委員長あいさつ 来年は支部結成60周年 しっかりと組織づくり進め1年間闘っていこう

建交労関西支部執行委員長 本多 裕重



大会に参加の議員のみならず、みなさん大変ご苦労様です。執行部を代表してご挨拶させていただきます。

今日からワールドシリーズ、ドジャースとヤンキースがアメリカの地で戦いをやっています。

スポーツというのは見ていて楽しいし、気持ちもワクワクすると思います。我々もこの大会を契機にそんな組合活動ができるように頑張っていきたいと思えます。

国内政治においても、3年間続いた岸田政権が、安倍政治を引き継ぐ中で防衛費を5年間で1.5倍にする、43兆円を下乗せするんだ、という決定をしました。これは日本の安全保障政策の大転換と言えるものです。防衛費増税をめぐる国民が岸田首相を「増税メガネ」と揶揄する中で、岸田政権の支持率はどんどん低迷していききました。

最後には政治資金パーティーによる裏金問題によって岸田政権が退陣を余儀なくされました。

その後に首相となった石破氏は「岸田政権の政治を引き継ぐ」と表明する中で、戦後最短の衆議院の解散が行われ、我々の大会終了当日の10月27日に投票が行われます。

代議員のみなさんにおいても、期日前投票をされた方もいらっしゃると思いますが、投票に行っていない方は、大会終了後に必ず投票行動を行っていただきたい。家族や知人に投票に行こう、国民に向けた政治をする政党や政治家に一票を投じようという声掛けをお



願いたいと思います。日本では各地でいろいろな困難に立ち向かっている人たちが多くいます。沖縄では辺野古新基地の建設に反対する人たちが美しい大浦湾の自然を守るだけでなく、沖縄の魂の闘いを続けています。

東日本大震災から13年が経過しました。いまだに溜まりに溜まっている汚染水を海洋放棄しながら、廃炉に向けた作業は一向に進んでいません。こうした中でも故郷を追われた被災者の救済が一向に進んでいないのが現実ではないでしょうか？

今年の1月1日に能登半島で大きな地震がありました。そして9月には、奥能登を中心とした豪雨災害が起きました。私も参加している建設政策研究所関西支所で、この地震の状況を視察に行こうという計画を立てていました。その1週間前に豪雨災害があって9月28、29日と現地に行ってきました。震災の被害を受けた仮設住宅で暮らす人たちの懇談を行い、仮設住宅の生活になじめず、いまだに被災した住宅に住んでいるという方もいらっしゃいました。どの方もこの先の未来が見えない、行政がしっかりとこういふことについて解決してほしい、と声が聞かれました。

このようなたいへんな状況を改善し被災者を助けていくには政治の力が必要になります。この近道は投票です。しっかりと国民に向かった政治をする、このような国づくりをするのが一番で

す。必ず投票にはみんなで行って、しっかりと国民や市民に優しい政治の実現が必要ですよ。

我々労働組合も政治闘争は必要だと考えています。ぜひとも声をあげてよろしくお願ひします。

今年の春闘では旺盛に闘うことができたと思っております。これはそれぞれの業種の中で、労働者が置かれている状況、業種では特にトラックの2024年問題など経営にも厳しい環境にもなっています。経営側と職場、労働組合の方で懇談



今期については、日々雇用労働者の最低日額賃金が2万円に引きあがるという確認が取れています。そして、正規労働者の交渉においても、それぞれの違いはあったとしても、5桁を超えるような回答を得た企業も多くあります。

我々は、ただ労使が対立するだけでなく、しっかりと今の現状を話し合っただけでなく、しっかりと我々の条件や生活が向上できるように進めていく必要があります。

共闘を広げていく意味でも関西支部がしっかりと大きく力強くなっていく必要があります。中央本部でも組織建設の強化委員という形でこの再登録をしています。関西支部でも執行委員を中心に16人が登録を済ませ、ウェブ会議ですが2カ月に1回の学習会もこの間2回開催されています。そして昨年も提起しましたホームページを一新しています。みなさん関西支部の新しいホームページを見て

来賓あいさつ

建設労働者が、安全・安心に働ける環境を作るのが発注者の責任

建交労大阪府本部委員長 前村 和弘

も実行委員会を開催しながらみなさんと関西支部の60周年を祝いたいと思います。しっかりと1000名になろうという運動を繰り返していきたく思います。今回60回、来年61回の大会は60周年を迎えることになりました。我々も60周年に向けて何かできないかということ

も実行委員会を開催しながらみなさんと関西支部の60周年を祝いたいと思います。しっかりと1000名になろうという運動を繰り返していきたく思います。今回60回、来年61回の大会は60周年を迎えることになりました。我々も60周年に向けて何かできないかということ

関西支部第60回定期大会のご盛會本当におめでとうございます。大阪府本部を

もらえていますか？「関西支部」で検索すると必ずこのホームページがでてきますので、携帯などで1日一回、一週間に一回でもいいです。見ていただきたいと思います。そして、今日のスローガンにもある1000人支部を建設しよう、ということこの間ずっと目標を掲げています。今日の大会でしっかりと運動方針を確立して、来年にはしっかりと1000名になろうという運動を繰り返していきたく思います。今回60回、来年61回の大会は60周年を迎えることになりました。我々も60周年に向けて何かできないかということ

代表してご挨拶させていただきます。

府本部の会議で各支部の組織拡大の取り組みの報告もいただいています。本多委員長から、連日宣伝力も出しながら、いろいろな所で宣伝行動をして奮闘されていることに対して、本当に頭が下がる思いです。

政治情勢では、明日が衆議院総選挙の投票日です。繰り返しになりますが、選挙に行かれた方、明日行く方もいらっしゃると思います。選挙に行くと必ず政治を変えようというのが労働



組合ができる政治闘争という立場でやっています。そこをご理解いただいて、どの政党に入れたら我々にとっていいのかという判断も材料はいっぱいあります。そこは冷静に判断していただきたいと率直に思います。明日の投票は蓋が閉まるまで奮闘したいと思っています。

やはり今の自公政権では労働者・国民の大変な状況。一方大企業・財界は潤っている。ほんの一部の人達が潤う政治がやられている。このことによって大多数の労働者は困っている。この大本をなげくという闘いはみなさんが勤める会社では賃金をあげると言ってもなかなか上げられない。この根本的な原因がどこにあるのか、ということも含めて議論しながら、一緒に闘えるところは一緒に闘いながら「賃金上げてくれ」と要請することも大切で、そういう位置づけで奮闘していただきたいと思っ

この間、我々大阪建設共闘、そこに入っている関西生大連（関西ブロック生活関連公共事業推進連絡会議）でいろんな運動をやっています。万博の会場建設が本場に遅れているということ、自民党議員から、長時間労働の規制が24年4月から建設労働者や運輸労働者にかけるので、超法規的に無視するんだ、と言われたことを受けて、我々は、こんなことをさせたら、東京オリンピックでは、死者、自殺者も出す大事故が何件か起っています。こんなことを繰り返して

ではダメだと、そういう立場で、去年の10月に要請行動を行いました。それを受けて交渉を進めながら、メタンガスなども含めいろいろ問題が起きているので、そんなことにならないようにきちんとするべきだと、近畿地方整備局や大阪府、万博協会に要請しました。

組織拡大を含めて、10月・11月が拡大月間です。全国で拡大に取り組みもうと提起を受け、関西支部の力も借りて宣伝行動も行います。支部、分

会も含めて各機関会議で組織拡大、共済の拡大も併せて取り組んでいただいて、建交労関西支部の1000名目標、府本部も1000人目標です。ともに取り組む達成するという決意を述べて連帯のあいさつとしまし

今日の方針の中には大阪関西万博については中止にするべきだと書かれていますが、建交労大阪府本部としても中止するべきだし、夢洲でやることも自体が問題だ

〈来賓メッセージ〉

職場での粘り強い労働組合のたたかいなくして、政治の変革はあり得ない

常任弁護団 徳井 義幸 弁護士(北大阪総合法律事務所)

建交労関西支部の第60回定期大会の開催にあたり、常任弁護団を代表して一言連帯の挨拶をいたします。

まず、常任弁護団の都合がつかず、大会の場に出席できず、メッセージの送付となりましたことをお許しください。

さて、自公政権は、この間軍事費の2倍化、敵基地攻撃能力の保有のための長距離ミサイルの配備などの

と、そんな思いで反対運動をやっています。

組織拡大を含めて、10月・11月が拡大月間です。全国で拡大に取り組みもうと提起を受け、関西支部の力も借りて宣伝行動も行います。支部、分

会も含めて各機関会議で組織拡大、共済の拡大も併せて取り組んでいただいて、建交労関西支部の1000名目標、府本部も1000人目標です。ともに取り組む達成するという決意を述べて連帯のあいさつとしまし

今日の方針の中には大阪関西万博については中止にするべきだと書かれていますが、建交労大阪府本部としても中止するべきだし、夢洲でやることも自体が問題だ



大会での討論

出席議員からの発言では「組織建設の課題(人員補充・欠員補充のあり方について)、日々雇用労働者の処遇改善、トラック運送における事故防止の課題、

発言された代議員

(写真紹介)

このほか文書発言が「藤井商会分会・吉田正人さん」よりありました。

選挙闘争の強化、反核平和のたたかい、正規雇用で入職した組合員からの決意表明」など建設的な発言が寄せられました。

答弁で、発言の中で出された意見に回答し、「1000名支部建設は各組織の先頭に立つ執行部のリーダーシップと全組合員参加の運動、支部結成60年を迎える

中で各業種別運動の到達点を活かすこと、要求実現はわたしたちの行動力によって前進する。支部執行委員会は運動の先頭にたつて奮闘する」とまとめました。



松田 克昭 代議員 (中央地域合同分会)

解散総選挙、核廃絶のたたかい、職場における組織機能確立について



中村 章 代議員 (井住分会)

組織推薦による人員補充とその後の労働組合活動のあり方について



山本 雅樹 代議員 (朝日分会)

人材不足、将来の担い手確保めざす労働条件改善、職場環境の改善について



奥田 裕基 代議員 (シントー分会)

職場における人員補充の努力による新規採用と今後の決意について



長谷川 浩史 代議員 (関西総合合同分会)

重大事故の教訓から情報の共有と「事故ゼロ」をめざすとくみ、決意について



松合 博 代議員 (朝日分会)

日々雇用労働者の生活と就労の安定化の実現にむけたとくみについて



特別決議

全組員の総力をあげて
仲間のくらしと権利、いのちと健康を守るたたかいをひろげ
早期の1000名支部建設をめざそう

物価高騰と増税に国民生活が日に日に苦境に陥る中、自民党の裏金事件で世論の怒りが高まっている。国民批判を避ける為に岸田首相は、政権を投げ出し、自民党総裁選で石破茂氏が総裁に選出された。自民党政治を終わらせようとする国民の想いが高まる中、建交労は、国民・働く仲間のくらしと健康を守るとりくみを職場や地域にひろげてたたかいつづけてきた。

関西支部は早期の「1000名支部建設」を引き続き追求する。強大な支部建設を見据え、その実現をめざすには、次世代の幹部の育成、書記局、各ブロック・部会の体制強化、支部執行委員会のスキルアップなど多くの課題を乗り越えるため日々奮闘することが求められる。

その為に、PT活動を中心に各ブロック・職場（分会）の機能強化をはかりながら、対象業種・対象職場・対象者を明確にして、全組員運動としての推進体制を確立し、一人ひとりの行動力をもって、秋・春の「組織拡大月間」を成功させる。「要求アンケート」は対象者との対話の武器として活用し、4000筆の集約目標の達成をめざす。

また、組員と組織の力量アップをはかるために学習・教育活動を強化し、系統的で継続的な学習運動を推進する。ブロック・分会・班の組織機能確立は、運動をすすめる基礎となるものである。その為に、「4つの指標」に基づく職場点検と組織の改革に乗り出すことが肝要である。

10月27日(投票日)で実施される総選挙は大企業の利益確保を続ける自公政権を国会から追放し、憲法を守り、国民の命と暮らしを守る政治の実現を目指し全組織が総選挙闘争へ決起する。建交労関西支部は職場と地域の力を結集し、仲間のくらしと権利、争議に挑む仲間を支え、いのちと健康を守るたたかいに全力をあげてたたかう。

以上、決議する。

2024年10月27日 全日本建設交通一般労働組合関西支部第60回定期大会

大会宣言

建交労関西支部第60回定期大会は、実質賃金の低下と2年以上にわたる原油および物価高騰によって国民生活が大きく疲弊している状況の下、自公政権と改憲勢力は、専守防衛を掲げ捨てる「敵基地攻撃能力の保有」にもとづいた大軍拡推進を強行し、防衛費は約8兆円にも達するなど、戦争する国づくりを許さない闘いと自民党政治を断ち切る決断が求められているなかで開催した。

経済闘争では、物価高騰を乗り越えようとする春闘を攻撃的に闘い、多くの職場で昨年を上回る回答を引き出し、生コン職場では5ケタの賃上げを勝ち取ってきた。適正単価の収受、賃金の大幅な引上げ、雇用を守り、誰もが希望をもてる公正社会の実現をめざすたたかいは、業種別の運動が、実利獲得の成果に結びつき、制度政策要求闘争の新たな前進を切り開いている。

トラック関連では、「物流の2024年問題」の課題に対する運動を強化し、労働時間短縮と賃上げを一体としてとりくんできた。

セメント生コン関連では、労組間共闘をさらに前進させ、多数派の視点にたつて一致する要求に基く共同・共闘をもって集団的労使関係を発展させ、24年春闘では圧倒的多数の未組織・未加盟労働者、非正規労働者に焦点をあて最低日額賃金ガイドラインは20000円に達するなど共同・共闘をさらに強化させている。

労災職業病関連では、粘り強く綿密な労働相談や認定をかちとるとりくみを通じて、組員を拡大している。

このような奮闘と結合した組織拡大は、業種別運動の到達点をいかしつつ関西支部を押し出す宣伝行動を展開してきたが、さらなる奮闘と一人ひとりの組員が当事者意識をもって行動していくことが強く求められている。

第60回定期大会は、日本国憲法を守り・活かし、賃金・労働条件の改善・雇用確保、人間らしい生活の保障、マイナンバーカードと健康保険証廃止反対、インボイス制度廃止、反戦・平和社会の実現に向けて、「失業と貧乏と戦争に反対する」旗を高く掲げ、戦争する国づくりNO！9条まもれ！の声を職場・地域の隅々にひろげ、新自由主義政策の転換を迫る運動と共同をさらに前進させて、要求実現と組織拡大強化をめざすことを確認した。

われわれは、決定した向こう一年の運動方針に団結し、憲法がいきる政治・社会の実現と組織建設の飛躍に向けて、全組員一丸となって奮闘するものである。以上、宣言する。

2024年10月27日 全日本建設交通一般労働組合関西支部第60回定期大会

機関紙表彰

昨年引き続き、**北大阪ブロックが「奨励賞」を受賞**
機関紙表彰では、北大阪ブロックが昨年に続いて発行継続が評価され、本多委員長から「奨励賞」が贈られました。



メッセージ・祝電 (敬称略・順不同)

以下のみなさんから心温まるメッセージ・祝電をいただきました。ありがとうございました。

<建交労中央本部・県本部> 中央本部/北海道本部/福島県本部/茨城県本部/東京都本部/愛知県本部/京都府本部/熊本県本部

<建交労支部> 近物レックス支部/テーエス支部/関西合同支部/西宮支部

<地区労連> 尼崎地区労働組合総連合

<法律事務所> 民主法律協会/北大阪総合法律事務所/きづがわ共同法律事務所/京都第一法律事務所/大阪アスベスト弁護団

<友好労組> 運輸労連大阪府連合会/全日本港湾労働組合関西地方阪神支部/国鉄労働組合近畿地方本部/近畿生コン関連協議会/連合交通労連関西総支部生コン産業労働組合/関西労供労組協議会/新運転・関西職別労供労働組合/阪神自動車運転士労働組合

<友好団体> NPO法人・建設政策研究所関西支所/全日本年金者組合大阪府本部/アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会/国民救援会大阪府本部/国民救援会尼崎支部

<お祝い電報> 一般社団法人・大阪府トラック協会/関西広域輸送協同組合/自動車運転士労働組合



～選出された新役員～

今大会、全員再任で選出された以下の役員が今後2年間、その任にあたります。

執行委員長

本多 裕重 (北大阪統合分会新大阪班)

副執行委員長

- 北村 彰 (井住分会神戸班)
- 高橋 克利 (中央地域合同分会大久保建材運輸班)
- 森田 昌志 (事務局)
- 山内 真樹 (神戸西分会)

書記長

藤川 拓 (関西総合輸送合同分会)

執行委員

- 東 徹司 (藤井商会分会)
- 居戸 右文 (兵庫大阪生コン分会)
- 神原 一行 (朝日分会)
- 紀平 英伸 (マルテン分会)
- 藤長 直幸 (シントー分会)
- 三島 豊数 (朝日分会)
- 山下 真司 (阪神統合分会伊丹班)

会計監査

- 奥村 勝厚 (北大阪統合分会新大阪班)
- 佐野 達也 (中央地域合同分会大久保建材運輸班)

大会終了後に開催された第1回執行委員会で、以下の特別役員が確認されました。

顧問: 岡元 貞道

特別執行委員: 芦崎 光夫/岡元 知恵
金丸 涼子/村井 金治郎

